



バイオガス発電の仕組みについて質問する児童

### 地球にやさしい発電を学ぶ

#### ■バイオガス発電所環境学習

川崎小学校では10月18日、株式会社ゲネシスの大橋徳久さんを講師に招き、4年生60人を対象に「バイオガス発電所環境学習」を行いました。

食品廃棄物を発酵させ、発生したガスを利用して発電する仕組みを学んだ児童からは「生ごみもリサイクルできることを初めて知って、びっくりした」「微生物の力で発電していることを初めて知った」「生ごみも処理できて発電もできるから地球にもいいんだなと感じた」などの感想が聞かれました。

### 国際メジャー大会出場を目指して

#### ■ゴーセンカップ国際レディースオープンテニストーナメント

10月5日から10日まで、静波リゾート・スウィングビーチで国際テニス連盟公認「ゴーセンカップ・スウィングビーチ牧之原国際レディースオープンテニストーナメント」が開催されました。

シングルス決勝では、第2シードの興石亜佑美選手がノーシードから勝ち上がってきた伊藤あおい選手を下し、見事初優勝しました。またダブルス決勝では、久保杏夏選手・伊藤あおい選手ペアが、田中菜冴美・西本聖良選手ペアを下し、優勝しました。



シングルの熱戦を制し見事優勝した興石選手

### 明るい未来への想いを込めた作品

#### ■相良高校出身の書家が杉本市長を表敬訪問

世界を舞台に活躍し、市内で書道教室を主宰する書家の吉永益美さん（相良高校出身）が、日光東照宮建造物の国宝指定70周年を記念した美術展覧会の書道部門で貴重な「五重塔賞」を受賞し、10月18日に杉本市長を表敬訪問しました。

受賞作品「蒼天」は、相良高校の学校祭「蒼天祭」の名前にもなっており、吉永さんは作品に込めた母校への思いや、NHK大河ドラマの題字を揮毫したいという将来の夢を語ってくれました。

受賞作品は、相良高校に寄贈される予定です。



受賞作品の前で賞状を手にする吉永さん（左）と杉本市長



図書館職員らに教わりながら折り紙を折る参加者

### 折り紙で手と脳を動かそう

#### ■いこっと折り紙教室

ミルキーウェイスクエアで10月14日、「いこっと折り紙教室」が行われ、市内の高齢者など23人が午前・午後の部に分かれて参加しました。これは、当初は9月に企画され、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い延期されていたものです。

教室では、図書館職員が講師となり、折り紙で「3色ごま」の作成に挑戦しました。参加者は、講師らに折り方を教わりながら、異なる色の折り紙を使って部品を3つ作成。それらを組み合わせて、こまを完成させました。

広報担当がどこにでも取材に行きます。  
あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

情報交流課 ☎0040 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

ズームイン！  
カシャ！！



式典後には完成記念グラウンドゴルフ大会も開催され約80人が参加

### 「かつ」またに集「ま〜れ」!

#### ■勝間田区ふるさと体験の森多目的広場が芝生化

勝間田区ふるさと体験の森多目的広場の芝生化が完成し、10月10日に完成お披露目会が開催されました。広さ約5千平方メートルの広場に整備された芝生は、区民らが5月から苗づくりを行い、6月に植栽して、水やりや草取りなどの管理を行ってきたものです。

式典では、区の回覧板や勝間田小児童などを通じて募集し決定した愛称が発表されました。選ばれたのは山本良子さん（細江区）が考案した「かつま〜れ」で、29件の応募の中から、児童や区役員など区民の投票で選ばれました。山本さんは「勝間田に集まってほしいという思いを込めた。勝間田の皆さんの投票で選ばれたことが何よりうれしい」と喜びました。

### まきのはらを築いた偉人たちを学ぶ

#### ■市史料館企画展「続・まきのはらを築いた人々」

10月2日から令和4年2月27日まで、市史料館企画展として、郷土の偉人展「続・まきのはらを築いた人々」が開催されています。

10月2日から31日までの第1期は、小田原勇を中心に公益財団法人培本塾の設立に関係した人々の資料や写真などが展示。市内外から訪れた来場者は、その歴史や功績を学びました。

この企画展は、約1カ月ごとに展示内容が変わる予定で、一度入場券を購入すれば、開催中は何度でも入場することができます。



図書交流館いこっとに設置された職員手作りの撮影スポット

### 図書館でハロウィンを楽しもう!

#### ■市立図書館でハロウィンイベント開催

本に関するハロウィンイベントが、10月1日から31日まで、市内の各図書館で行われました。

このイベントは、読書週間に本をたくさん読んでもらおうと行われたもので、読んだ本を記録できるノートを配布したほか、来場者がおすすめの本を紹介した紙を、職員がボードに貼り付け、大きなジャック・オ・ランタンを完成させました。また、いこっとや榛原図書館には職員が描いたハロウィンの撮影パネルが設置され、来場者を笑顔にっていました。



培本塾の設立に関係した人々を学ぶ来場者